

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

古川 英子

開催月日	令和5年5月8日(月)～5月12日(金)		
開催時間	5月8日は16時～17時 5月12日は9時25分～12時		
開催場所	全国市町村国際文化研究所		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団		
研修会等の名称	令和5年度 市町村議会議員研修〔5日間コース〕 「新人議員のための地方自治の基本」		
講師等の氏名 等内容・結果 等	5月8日(月) 開校式・オリエンテーション		
	5月9日(火) 講義 地方自治制度の基本について		
	講師：同志社大学 政策学部教授 野田 遊 氏		
	講義 個人情報と地方議会		
	講師：個人情報保護委員会事務局研究官 松本 秀一 氏		
	講義 地方議会制度と地方議会改革の課題について		
	講師：大正大学 社会共生学部教授 江藤 俊昭 氏		
	5月10日(水) 講義・演習 地方議会と自治体財政		
	講師：武庫川女子大学 経営学部教授 金崎 健太郎 氏		
	5月11日(木) 講義・演習 地方議員と政策法務・条例演習		
	講師：新潟大学副学長・経済学部教授 宍戸 邦久 氏		
	5月12日(金) 講義 これからの地方議員に期待されていること		
講師：上智大学 法学部教授 三浦まり 氏			
上記活動に要 した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費	全国市町村国際文化研究所	16,150
	旅費	航空運賃、交通費	27,810
	宿泊費		
	振込料金		550
	合計		44,510

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

古川 英子

開催月日	令和5年5月9日		
開催時間	9時25分～12時		
開催場所	全国市町村国際文化研究所		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団		
研修会等の名称	令和5年度 市町村議会議員研修〔5日間コース〕「新人議員のための地方自治の基本」		
講師等の氏名等	野田 遊 氏 同志社大学政策学部教授		
内容・結果等	地方自治制度の基本について		
	主体（政策主体は誰？）	1. ガバナンス	2. 自治体議会
	管理と実践（どのように進めるか？）	3. 自治体財政	4. 自治体組織
		5. 政策	
	編成（いかに組織を編成するか）	6. 地方分権	7. 広域連携
	情報発信（どうしたら伝わるか？）	8. 広報	
	※詳細資料は別紙のとおり		
	まとめ・感想		
	住民の市政に対しての認識は差があり低いと考えられる。しかし、期待水準は高く このような状況の中で住民と対話し、対象に応じた伝え方を工夫し、継続的に 機会を持っていかなければならないと再度認識することができた		
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先
会場費			
講師謝礼			
出席者負担金			
会費			
旅費			
宿泊費			
振込料金			
合計			

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

古川 英子

開催月日	令和5年5月9日(火)		
開催時間	13時～14時10分		
開催場所	全国市町村国際文化研究所		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団		
研修会等の名称	令和5年度 市町村議会議員研修〔5日間コース〕 「新人議員のための地方自治の基本」		
講師等の氏名等	松本 秀一 氏 個人情報保護委員会事務局研究官		
内容・結果等	改正個人情報保護法とマイナンバー法への地方公共団体における対応について		
	1. 個人情報保護委員会		
	2. 令和3年改正個人情報保護法		
	3. マイナンバー法への対応		
	4. 事例～こんなときどうする～		
	まとめ・感想		
	今回の研修で、個人情報保護について講義された。基本的に通常行っている個人情報漏洩問題については熟知している内容であった。マイナンバーカードについては諸処の問題があったが、その都度対処されており、2024年秋にはマイナンバーカードへの完全移行が予定されており、市民の不安と利便性(高額医療申請の必要がなくなる)が交差するが、必要時はできる範囲で説明していきたい。		
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先
会場費			
講師謝礼			
出席者負担金			
会費			
旅費			
宿泊費			
振込料金			
合計			

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

古川 英子

開催月日	令和5年5月9日(火)		
開催時間	14時～17時		
開催場所	全国市町村国際文化研究所		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団		
研修会等の名称	令和5年度 市町村議会議員研修〔5日間コース〕 「新人議員のための地方自治の基本」		
講師等の氏名等	江藤俊昭 氏 大正大学 社会共生学部教授		
内容・結果等	地方議会制度と地方議会改革の課題		
	―住民自治の根幹―としての議会の作動―		
	1. 「住民自治の根幹」としての議会の作動：議会改革の本史への突入		
	2. 議会改革の本史の第2ステージ：住民福祉の向上に連動させる		
	3. 議会からの政策サイクルに質問・質疑を位置づける		
	4. 今後の課題		
	まとめ・感想		
	市民に行政・議会に関心を持ってもらうためにどう行動すべきか、住民との関係性を図っていき、市民との接点を多くとれるように自分自身が行動していかなければならないと痛切に感じる。また、将来議員になりたいという人への環境をつくり、活動しやすい場を作っていくことも私たち現在の議員の役目だと思う。		
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先
会場費			
講師謝礼			
出席者負担金			
会費			
旅費			
宿泊費			
振込料金			
合計			

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

古川 英子

開催月日	令和5年5月10日(水)		
開催時間	9時25分～17時		
開催場所	全国市町村国際文化研究所		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団		
研修会等の名称	令和5年度 市町村議会議員研修〔5日間コース〕 「新人議員のための地方自治の基本」		
講師等の氏名等	金崎健太郎氏 武庫川女子大学 経営学部教授		
内容・結果等	自治体予算の原則		
	予算のチェックポイント		
	財政を判断する		
	まとめ・感想		
	予算は一般会計年度の歳入と歳出の見積りであり、企業は正確に利益を算定するが、自治体は利益は求めず、予算が全てで決算は確認である。確かに自治体としては、利益は求めないだろうが、本当にそれでよいのだろうか地域が潤うことが一番だと思う。 行政があげる予算をチェックする力をつけ住民のニーズや地域課題、行政改革の視点等考え取り組んで行きたい。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	振込料金		
	合計		

嬉野市議会議員

古川 英子

開催月日	令和5年5月11日（木）		
開催時間	9時25分～17時		
開催場所	全国市町村国際文化研究所		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団		
研修会等の名称	令和5年度 市町村議会議員研修〔5日間コース〕 「新人議員のための地方自治の基本」		
講師等の氏名等	宍戸 邦久氏 新潟大学副学校長 経済学部教授		
内容・結果等	1. 法律の体系と一般原則 ①法令の種類 ②法の一般減億		
	2. 法令の解釈		
	3. 政策法務 ①才作法務の意義 ②今なぜ政策法務か ③条例制定の動向		
	4. 条例立案の留意点 ①政策・制度の立案プロセス ②立案の視点		
	③立法のパターン ④条例の基本形式 ⑤主は法令用語		
	※詳細資料は別紙のとおり		
	まとめ・感想		
	グループに分かれ受講者が属する市町村の条例や関心のある条例を報告し、各グループ内で共有し班ごとに発表した。全体討議で理解を深めることができた。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額（円）
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	振込料金		
	合計		

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

古川 英子

開催月日	令和5年5月12日(金)		
開催時間	9時25分～12時		
開催場所	全国市町村国際文化研究所		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団		
研修会等の名称	令和5年度 市町村議会議員研修〔5日間コース〕 「新人議員のための地方自治の基本」		
講師等の氏名等	三浦 まり氏 上智大学 法学部教授		
内容・結果等	・「仕事の場」としての議会		
	すべての人が安心して十分に政治参画できること →ハラスメント対策		
	・議員に求められること、評価されること		
	政策立案・行政監視・市民相談・市民とのコミュニケーション・市民の政治参画		
	まとめ・感想		
	2020年6月1日にパワハラ防止法が施行され、2022年4月1日より義務化されました。		
	他市町では女性議員の質問時に大声でやじが飛んだり、選挙期間中もいろいろな声が飛び交ったということを知ります。本市ではこのような経験がなく安心して参画しています。		
	政治参加の活性化に向けては、議員と市民がフラットに議論する場をもっともっと多く作っていかねばならないと痛感した。		
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先
会場費			
講師謝礼			
出席者負担金			
会費			
旅費			
宿泊費			
振込料金			
合計			